

**公益財団法人新潟市開発公社**  
**平成 26 年度第 2 回理事会議事録（抄本）**

**1 開催日時**

平成 26 年 5 月 23 日(金) 10 時 00 分から 10 時 45 分まで

**2 開催場所**

白山会館 1 階羽衣の間（新潟市中央区一番堀通町 1-1）

**3 理事現在数及び定足数**

現在数 9 人、定足数 5 人

**4 出席理事数 8 人**

（出席） 鈴木 亨 理事長(代表理事)、南 正平 専務理事(代表理事)、  
高井 忠則 常務理事(業務執行理事)、石本 陽子 理事、長井 亮一 理事  
濱口 順子 理事、渡辺 茂 理事、渡邊 英慎 理事

（欠席） 遠藤 修司 理事

（監事出席） 岡田 芳和 監事、山岸 誠一 監事

**5 その他の出席者**

（事務局） 若杉 俊則 事務局長、福田 悟 総務課長、山崎 美香 総務課長補佐、  
石田 孝 スポーツ・レクリエーション課長、米山 一彦 施設整備課長、  
田中 守 緑化推進室長、齋藤 仁 水族館副館長、  
桜井 一賀 産業勤労推進室長  
村井 卓 総務課経理係長、工藤 高広 総務課経理係主事

**6 決議事項**

議案第 1 号 平成 25 年度事業報告及び決算の承認について

議案第 2 号 第 1 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

**7 議事の経過の要領及びその結果**

**(1) 出席者及び決議の確認等**

山崎総務課長補佐から、出席理事、監事、事務局の紹介を行い、配布議案の確認をした。

その後、定款並びに理事会運営規程に規定する理事の過半数の出席を満たし、本理事会は有効に成立している旨の説明があった。

**(2) 議長及び議事録署名人の選出**

定款並びに理事会運営規程に基づき、鈴木理事長が議長となり、議事録署名人は鈴木理事長、南専務理事、岡田監事及び山岸監事とし、議案の審議に移った。

**(3) 議案第 1 号 平成 25 年度事業報告及び決算の承認について**

議案について、鈴木理事長、南専務理事、高井常務理事、若杉事務局長から説明を行った。

最初に事業報告書に沿って、主な実施内容や利用者の増減理由などを事業ごとに説明を行い、次に財務諸表に沿って計数の説明を行った。また、公益法人の法令が定める収支相償、公益目的事業比率について、要件を満たしている旨の説明があった。

続いて、監事を代表して山岸監事から業務執行は適正に行われていたこと、財政状態及び会

計決算については財務諸表に適正に表示されていたと報告があった。

説明後、本議案に関して、次のとおり質疑応答があった。

(濱口理事) スポーツ振興事業におけるボランティア「応援し隊」とはどのようなものか。

(石田課長) 随時協力していただくボランティアである。活動内容の一例であるが、トレーニングルームで使用する雑巾の寄付などの支援をいただいた。

(濱口理事) 教室の開催数に偏りはないか。

また、施設についても古い施設、新しい施設があるが、利用者に対する平等、公平についてはどう考えるか。

(石田課長) 教室の開催は各施設同様に実施しており数え方による違いである。

施設については、体育室の床の張替、トレーニングマシンの入替などを随時行っており、差はない。ただし、シャワー等のアメニティは差がでるが、こまめな清掃、用具の整備等などの運営面の工夫により対応している。

(濱口理事) 水族館について2点。

まず、新設された屋外施設「にいがたフィールド」について、館外から外来する生物も含め観察、データ収集してはどうか。水生生物以外も対象になるので、植物や鳥類などの専門家や関係機関と協力して新たなプロジェクトとして研究することはできないか。

次にリニューアル後のレストラン、売店の現状を聞かせてほしい。

(若杉局長) 今後出来る範囲で検討したい。

(齋藤副館長) レストラン・売店の売上について、平成23年度と平成25年度同時期との比較になるが、レストランは約193%増。売店は、約218%増となっている。

(濱口理事) リニューアル後、随所で新たに解説などを行っており、お客様が大変喜んでいっているのを見ている。新たなプロジェクト実施となると職員の負担が増えると思うが、学校のクラブ活動等の活用などの一般協力も視野に入れ検討してほしい。

(鈴木議長) 今後も市民の方々に協力していただきながら職員と一体となって、より良い施設づくりを目指していこうと思う。

(長井理事) 産業振興センターの利用人数減に対する要因、また、今後の傾向について聞かせてほしい。

(桜井室長) 平成24年度は、8月、3月に数万人規模の集客力を持つイベントを行ったことが大きい。稼働率は、平成25年度79%、前年度80%とほぼ同率である。

今後の傾向として、競合する施設は朱鷺メッセが想定されるが、大きなイベントは朱鷺メッセ、中小イベントは産業振興センターというような棲み分けができると考える。

質疑応答を経て、審議の結果、本議案は出席理事満場一致で原案どおり可決された。

#### (4) 議案第2号 第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

第1回評議員会を次のとおり招集するため、定款及び理事会運営規程に基づき本理事会にて決議したい旨、鈴木理事長から説明があった。

① 開催日時及び場所

開催日時 平成 26 年 6 月 10 日(火) 午後 1 時 30 分から

開催場所 白山会館(新潟市中央区)

② 目的である事項等

決議事項 平成 25 年度事業報告及び決算の承認について

説明終了後、質問、意見等はなく、審議の結果、本議案は出席理事満場一致で原案どおり可決された。

(5) 業務執行状況の報告について

鈴木理事長から、各所属長から全事業の内容や留意事項の説明を受けた事に加えて、新潟市への連携及び地域貢献への目的から、文化・スポーツの会合・大会等の誘致・支援を行う専門組織である「新潟市文化・スポーツコミッション」の実行委員会の委員に就任した旨の報告があった。なお、南専務理事及び高井常務理事両名の報告については、議案 1 号で行った事業報告に代えると説明があった。

以上をもって、全ての議案の審議及び報告を終了、10 時 45 分に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果並びに報告事項が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

平成 26 年 5 月 23 日

公益財団法人新潟市開発公社

議長 代表理事

鈴木 亨

---

代表理事

南 正 平

---

監 事

山 岸 誠 一

---

監 事

岡 田 芳 和

---